

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名            |        | 公表日 2026年3月21日   |      |         |                                       |  |
|-----------------|--------|--|------|---------|---------------------------------------|--|
| 放課後等デイサービスおりーぶる |        |  |      |         |                                       |  |
|                 | チェック項目 | はい   | いいえ  | 工夫している点 | 課題や改善すべき点                             |  |
| 環境・体制整備         | 1      | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 100% | 0%      | 活動内容に応じてスペースを分け、安全に配慮した環境設定を行っている。    | 活動人数に応じたスペース確保について継続して見直しを行う。                |
|                 | 2      | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 100% | 0%      | 基準を上回る職員配置を行い、子どもの状況に応じた支援体制を整えている。   | 職員の専門性向上のため研修機会の更なる充実を図る。                    |
|                 | 3      | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 62%  | 38%     | 視覚的に分かりやすい環境設定や活動場所の区分を行っている。         | 建物構造上バリアフリー化が難しい部分について改善方法を検討する。             |
|                 | 4      | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 100% | 0%      | 清掃と衛生管理を行い、快適な生活環境を維持している。            | 清掃や整理整頓について職員間での意識統一をさらに図る。                  |
|                 | 5      | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 100% | 0%      | 落ち着けるスペースや別室を設け、個別対応ができる環境を整えている。     | 個別スペースの活用方法を職員間で共有していく。                      |
| 業務改善            | 6      | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 100% | 0%      | 日々のミーティングや振り返りを通して支援の改善を行っている。        | PDCAサイクルを職員全体でより意識して取り組める体制づくり。              |
|                 | 7      | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 100% | 0%      | 保護者評価を実施し、結果を職員間で共有している。              | 評価結果をより具体的な業務改善につなげていく。                      |
|                 | 8      | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 100% | 0%      | 職員間で意見交換できる環境を整え、日々の支援改善に活かしている。      | 定期的な会議を通して意見共有の機会をさらに増やす。                    |
|                 | 9      | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 0%   | 100%    | 外部からの助言を得られる機会を検討している。                | 評価者をどのように選定していいかわからないが、第三者評価の導入について今後検討していく。 |
|                 | 10     | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 100% | 0%      | 外部研修や内部研修の機会を設け、職員の資質向上を図っている。        | 全職員が積極的に参加できる体制づくり。                          |
| 適切な支援           | 11     | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 100% | 0%      | 支援プログラムを定期的に見直しながら作成・公表している。          | 内容のバランスや実施状況の検証を継続する。                        |
|                 | 12     | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 100% | 0%      | アセスメントを実施し、子どもや保護者のニーズを踏まえ計画作成を行っている。 | アセスメント内容の共有をさらに充実させる。                        |
|                 | 13     | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 100% | 0%      | 職員会議で支援内容を検討し、共通理解のもと計画作成を行っている。      | 職員全体での意見共有の機会をさらに増やす。                        |
|                 | 14     | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 100% | 0%      | 個別支援計画をファイル管理し、職員がいつでも確認できるようにしている。   | 計画に基づく支援の振り返りを定期的に行う。                        |
|                 | 15     | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 100% | 0%      | 標準化されたアセスメントツールと日々の観察を併用している。         | 評価結果を支援内容へより具体的に反映する。                        |
|                 | 16     | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0%      | ガイドラインに基づき、本人支援・家族支援等を意識した計画作成を行っている。 | 地域支援の視点をさらに充実させる。                            |
|                 | 17     | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 100% | 0%      | 活動プログラムを職員で分担しチームで立案している。             | 活動内容の振り返りを定期的に行う。                            |

|  |  |  |      |                          |   |                                  |
|--|--|--|------|--------------------------|---|----------------------------------|
| 援<br>の<br>提<br>供   | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 100% | 0%                       | 外部講師の活用など活動内容の多様化を図っている。                                    | 活動内容が偏らないよう継続的に見直す。              |
|  | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 100% | 0%                       | 個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。                                   | 子どもの状況に応じた活動の選択肢をさらに広げる。         |
|  | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 100% | 0%                       | 支援前に職員間で打ち合わせを行い役割分担を確認している。                                | より効率的な情報共有方法を検討する。               |
|  | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 62%  | 38%                      | 連絡ファイル等を活用し支援内容の共有を行っている。                                   | 退勤時間の違いにより全員での振り返りが難しいため方法を検討する。 |
|  | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 100% | 0%                       | 支援記録を作成し職員間で共有している。   | 記録を支援改善に活かす仕組みを強化する。             |
|  | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 100% | 0%                       | 定期的にモニタリングを実施し計画の見直しを行っている。                                 | モニタリング内容の共有をさらに充実させる。            |
|  | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 100% | 0%                       | 4つの基本活動（日常生活の自立支援、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供）を意識したプログラム構成を行っている。 | 活動内容のバランスを継続的に確認する。              |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 100% | 0%                       | したいことや思っていることができるよう子どもたちとコミュニケーションとりながら、言いやすい環境づくりの工夫をしている  | 子どもの主体性をより引き出す支援を検討する。           |
|  | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 100% | 0%                       | 担当者会議には状況を理解した職員が参加している。                                    | 関係機関との連携機会を増やす。                  |
|  | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 100% | 0%                       | 地域の関係機関と顔の見える関係づくりを行っている。                                   | 連携体制をさらに強化する。                    |
|  | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 100% | 0%                       | 送迎時などを活用し学校との情報共有を行っている。                                    | 情報共有の方法をより充実させる。                 |
|  | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 62%  | 38%                      | 必要に応じて就学前施設との情報共有を行っている。                                    | 連携の機会をさらに増やす。                    |
|  | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 75%  | 25%                      | 移行支援が必要な場合に備え情報共有体制を整えている。                                  | 対象利用者がした場合の連携方法を検討する。            |
|  | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 100% | 0%                       | 児童発達支援センターとの連携を図っている。                                       | 助言や研修の機会をさらに活用する。                |
|  | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 100% | 0%                       | 地域行事などを通して交流機会を設けている。                                       | 地域の子どもの交流機会を増やす。                 |
|  | 33   | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。  | 100% | 0%                       | 自立支援協議会へ参加し情報共有を行っている。                                      | 得られた情報を事業所内で共有する。                |
|  | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 100% | 0%                       | 送迎時や連絡帳を通して日々の様子を共有している。                                    | 共通理解をさらに深める取り組みを行う。              |
| 35   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 75%  | 25%  | 保護者向け勉強会など情報提供の機会を設けている。 | 参加しやすい方法を検討する。  |                                  |
|  | 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 100% | 0%                       | 契約時に運営規程等の説明を丁寧に行っている。                                      | 説明内容の理解確認を行う。                    |
|  | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0%                       | 保護者や子どもの意向を確認し計画作成を行っている。                                   | 意向確認の機会を増やす。                     |
|  | 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 100% | 0%                       | 個別支援計画を説明し同意を得ている。  | 計画内容の理解をより深めてもらう工夫。              |

|          |  |  |      |                       |                             |                                      |
|----------|--|--|------|-----------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 100% | 0%                    | 面談や相談対応を随時行っている。            | 相談しやすい環境づくりを継続する。                    |
|          | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 87%  | 13%                   | 保護者交流の機会を設けている。             | 保護者交流会は行われているが、兄弟参加できる参加しやすい企画を検討する。 |
|          | 41   | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 100% | 0%                    | 苦情対応体制を整え迅速に対応している。         | 周知方法を強化する。                           |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 100% | 0%                    | SNSや通信で活動の様子を発信している。        | 情報発信の方法をさらに工夫する。                     |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 100% | 0%                    | 個人情報には鍵付き書庫で管理している。         | 職員への意識づけを継続する。                       |
|          | 44   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 100% | 0%                    | わかりやすい言葉で情報伝達を行っている。        | 個々の特性に応じた伝達方法を検討する。                  |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 100% | 0%                    | 地域との交流機会を設けている。             | 地域に開かれた活動をさらに増やす。                    |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 100% | 0%                    | 各種マニュアルを整備し訓練を実施している。       | 保護者への周知を強化する。                        |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 100% | 0%                    | BCPを策定し定期的に避難訓練を行っている。      | 実践的な訓練内容を検討する。                       |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 100% | 0%                    | 契約時に健康情報を確認している。            | 情報更新の仕組みを整える。                        |
|          | 49   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 89%  | 11%                   | アレルギー情報を確認し、食事やおやつ時に配慮している。 | 重度アレルギー対応について体制整備を検討する（今のところ対象者おらず）。 |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 100% | 0%                    | 安全計画に基づき安全管理を行っている。         | 定期的な見直しを行う。                          |
|          | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 100% | 0%                    | 安全に関する情報を保護者へお知らせしている。      | 周知方法をさらに工夫する。                        |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 89%  | 11%                   | ヒヤリハットを共有し再発防止を検討している。      | 記録する程度をどのあたりにするのか共通判断が必要             |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 100% | 0%                    | 虐待防止研修を実施している。              | 継続的な研修機会の確保。                         |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100%   | 0%   | 身体拘束に関する説明を契約時に行っている。 | 必要時の手順確認を職員間で共有する。          |                                      |